

上板橋第二中・向原中 統合準備委員会ニュース

第2号

発行日：平成 28 年 12 月 20 日
開催日：平成 28 年 11 月 24 日
発行：板橋区教育委員会事務局
新しい学校づくり課
学校配置調整担当課長
電話 3579-2624

第 2 回では、新上二中の設計説明会についての報告と、平成 28 年度以降に検討する事項についての意見交換が行われました。

新上二中設計説明会実施報告

平成 28 年 10 月 31 日（月）及び平成 28 年 11 月 7 日（月）に行われた新上二中の設計説明会について報告しました。説明会では、板橋区が目指す学校づくりや、施設概要について模型を使って説明がありました。なお、説明会は平成 29 年 1 月から 2 月にかけて近隣 4 小学校（上板橋第二小、向原小、大谷口小、板橋第十小）でも行う予定です。説明会の案内については近隣 4 小学校の保護者あてに配布します。

【主な質疑・応答】

委員：地域開放エントランスのセキュリティ対策はどうなっていますか。

事務局：学校の中に入る管理区画は、鍵のかかる門を付けますので、外側の皆さんにお使いいただける部分とは分かれています。

委員：教科センター方式の開放型の教室ですが、教室の遮音性はどうでしょうか。

事務局：教科教室とホームベースの間、教科教室とメディア（廊下）の間に扉を付けて開閉できる形になります。教室は、完全にオープンでも使えますし、閉じても使えます。扉は鉄製になりますので、音楽室ほどではありませんが、木でできたものより、遮音性は高まります。



平成 28 年度以降に検討する事項について

平成 26 年 7 月から平成 28 年 2 月にかけて 16 回にわたり開催された魅力ある学校づくり協議会（上板橋第二中・向原中）の協議経過について確認し、平成 28 年度以降に検討する事項、特に統合方式、校歌・校章などについてどのような話し合いがされてきたかを振り返りました。また、事前に一部の協議会委員であった方々からいただいたご意見を紹介しました。

魅力ある学校づくり協議会（上板橋第二中・向原中）協議経過の振り返り

● 第 4 回では、校地・統合方式・校名・統合時期について整理しました。

時期	編入統合	新設統合
平成 29 年度末	2 校のうち 1 校閉校	2 校のうち 2 校とも閉校
平成 30 年 4 月～	編入先学校の歴史を引き継ぐ。改築工事をしない校舎に工事期間移動	新校名「A 校」開校。A 校の歴史が始まる。 改築工事をしない校舎（古い校舎を使った新しい学校）に工事期間（平成 30 年度から 2 年程度）移動
平成 32 年 4 月～	新校舎完成後に引っ越し	新校舎完成後に引っ越し

《これまでに行った統合方式》

統合方式	編入統合	新設統合
内容	学校を閉校し、他校に編入する。	二校を統合し、新設校とする。
校名	校名を引き継ぐ。	新たな校名とする。
校章	校章を引き継ぐ。	新たな校章を作成する。
校歌	校歌を引き継ぐ。	新たな校歌を作成する。

※新設統合でも、統合校名、校章、校歌は一枚のものを引き継いだ場合もあります。

●第5回では、編入統合と新設統合について統合方式と校名の考え方を整理し意見交換を行いました。

《主な意見》

- ・校名については歴史を1から始めるのが一番よいのではないかと思います。両校の関係者はともに校名に愛着がありますので、新しい校名で新たな歴史を作っていくほうがよいと思います。
- ・校名については卒業生のことも考えると、何かしらは残してあげたいと思いますので、場所は向原中なら名前は上板橋第二中にしたいというのが私の考えです。

●第6回では、これまでのご意見と、第5回の協議会での意見交換の内容を踏まえ、教育委員会の考え方をA案、B案、C案にまとめてお示ししました。また事務局の統合案をお示ししました。

A案 上板橋第二中の校地に上板橋第二中を建築（編入統合）

B案 向原中の校地に上板橋第二中を建築（編入統合）

C案 向原中の校地に新校を建築（新設統合）

《主な意見》

- ・学校教育全体の、教育改革がいずれ行われるという前提に立つと、向原中の生徒を上板橋第二中に編入統合する形で進めてよいのではないかと感じます。
- ・上板橋第二中と向原中の統合の問題は差し迫っています。向原中を閉校して上板橋第二中に生徒を迎え入れ、向原中の校地に新校舎を建てることも現実的に考えていかなければならないと思います。
- ・上板橋第二中と向原中の統合についての問題は、そろそろ結論を出さなければならない時期だと思っています。上板橋第二中か向原中のどちらかに新校舎を建てることは決定しているのではないかと思います。よって、A案かB案でいくのがベターであると思います。

質疑応答が終了したのち、これまでのご意見を総合的に判断し、今考えられる統合案を示しました。

－事務局の統合案－

(1) 校地：向原中

(2) 統合方式：上板橋第二中に向原中を編入統合する方式

(3) 校名：上板橋第二中学校

●第7回及び第8回では、上記の事務局の統合案についてご意見を伺いました。全体的に話をまとめていくべきとのご意見が多くありました。

《主な意見》

- ・向原中の校地に新校舎を建設し、できれば新校名にしたほうがよいと思いますが、喧嘩両成敗ではありませんが、上板橋第二中の校名でよいかという気もしないでもないです。
- ・事務局案で進めるべきだと思います。これ以上議論しても進まないと思います。魅力ある学校づくりの内容について検討していかなければならないと思います。
- ・2つの学校を1つにするにはお互いの歩み寄りが大事だと思います。校地が広いというだけで魅力があります。少しでも広いところで子どもたちが過ごせればと考え、事務局案のとおり、校地は向原中、校名は上板橋第二中にして進めるべきだと思います。

・校地は広い向原中がよいですし、校名は上板橋第二中にするのが自然であると思います。学校の中身についての話を始めたいと思います。

●第9回では、これまでの意見交換の内容を反映した「中間のまとめ」を提示し、その後学校の改築に向けた協議を進めていきました。この回の中で、校歌や校章について問題提起され、28年度以降の検討事項とさせていただきます。

《中間のまとめ 上板橋第二中学校と向原中学校の学校改築と統合についての方向性》

①上板橋第二中学校と向原中学校を統合します。

②校名は「上板橋第二中学校」とします。

③統合時期は平成30年4月1日とします。

④校舎の建築期間中は、上板橋第二中学校の校舎を使用し、向原中学校校地に建設する新校舎完成後、新校舎に移転します。

各委員のご意見（抜粋）

これまでの協議会での協議経過を振り返り、統合準備委員会委員の一人おひとりから主に校歌・校章などについてご意見を伺いました。

●上二中の校歌や校章を残すほうが自然な気がします。ただ、事務局から案を出して最後は多数決で決めるのが妥当ではないかと思います。

●上二中の卒業生からは校名・校章は残してほしいという声があります。ただ向原の希望もあると思いますので、統合の記念になるように、校章をアレンジするとか、新しい歌を作ったらよいのではないかと思います。

●皆さんがスムーズに話し合えるよう事務局案を出すのもよいと思います。

●まず学校の場所をどちらにするか、それから名前をどうするかから始まったと思います。場所は向原中、では名前は上二中ということで皆さん納得されてきたと思います。魅力ある学校づくりということから言えば、校名と土地で一段落しまして、新しい学校ができる以上は校章から校歌から制服から全部新しいものになるのが一番と最初から思っています。

●制服は子どもたちの意見を聞いて作ったらよいと思います。校章とか校歌も新しい学校になるので全部変えてくれたら子どもたちにもよいかと思います。

●上二中と向原中の校章をアレンジする折衷案もよいかと思いました。それぞれの思いがあることも確かですので、事務局から案を出してほしいと思います。

●事務局から案を出していただいて協議するほうがスムーズに進むと思います。今後は、子どものことを中心に考えていきたいです。

●向原という名前がなくなるのは寂しいと思いますが、小茂根の方々の上二中の名前と歴史に対する誇りをすごく感じます。校章に関してはモチーフなどを付けて新しくするなり、制服を若干変えるとかで話がまとめればよいと思います。

●ここに至るまでの思いはいろいろありますが、場所は向原中で、新しい学校にするのですから、何らかの形でまとめるしかないと思います。新しい学校として制服を変えたりして始めていったらよいと思います。

●向原団地ができて子どもが増えたので上二中の分校のような形で向原中ができたと聞いています。今回上二中に戻るわけですが、学校を作る場所が向原中だとなると、校歌も校章も新しくしてほしいと思います。

●校歌も校章も変えて新しい学校を、と思いますが、事務局から案を出して話し合っていく、これが一番ステップとしてよいのではないかと思います。

●自然の流れとすれば上二中の校歌・校章を引き継ぐことが普通であろうと思いますが、校歌・校章

の件は皆さん思いがあると思います。スケジュールを考えると子どもたちのために早く決めないといけない問題だと思います。事務局案をたたき台にして早く決めて、子どもたちの心のケアや教育のいろいろなものはどうするのかを考えるのがベストではないかと考えます。

●子どもたちが基本だと思えます。名前と校歌はそのまま使ったほうが伝統的にいけるのではと思えます。校章は上二中の校章に向原中のものを付け加えられれば、子どもたちは、向原中が残っているから新しい学校のことも良く思ってくれると思えます。

●皆さん協議会では大人の対応をしてこられたと思えます。上二中も向原中もどちらも伝統校であると思えます。上二中の校歌は残し、上二中の校章の中に何か向原中のものを残してもらえとお互いが歩み寄ったイメージが残ってよいと思えます。

会長より

ご意見ありがとうございました。上二中側のご意見は、編入統合なのだから校歌も校章も上二中のものを引き継ぐべきではないか、しかし話を進めるためには歩み寄る必要がある。向原中側といたしましては、新しい学校をつくるということであれば校歌・校章も新しくすべきではないか、しかし、話を進めるため、事務局で案を考えてほしいというご意見でした。両校が一つになるわけですから、それぞれお考えやお気持ち、また今までの伝統もあります。今いただいたご意見をもとに総合的に判断し、次回、事務局から事務局案を提示してください。

制服について（校長先生より）

委員の方から制服のお話が出ましたので、校長先生にお話を伺いました。

「制服に関してですが、どこの学校であってもその時の校長やPTAの方々、生徒と話し合っ、変更を検討するという事はやっています。校歌・校章のように伝統的にずっと同じ制服を着続けなくてはいけないということはないと思えます。2校が統合するとき制服も一新するとなると、時間的にもあと1年と数か月しかありませんのでなかなか難しいと思えます。やはり変えれば新校舎が完成して上二中から今の向原中の校地に引っ越してくるタイミングがよいのではないのでしょうか。そうすれば上二中の校舎で過ごす2年間で新しい制服や体操着やバッグなどをどうするかということを生徒や保護者と検討できます。

2種類の制服の子どもたちが一緒に生活するというのは現実的に考えるとあまり好ましくありませんので、統一してあげないと生活しにくいかなと思えます。よって新校舎ができるまでは向原中から行く子どもたちには上二中の制服を着てもらおうことになると思えます。」

※統合で必要となる制服をはじめとした学用品については、教育委員会事務局で費用負担するよう検討しています。

次回予定

平成28年12月20日（火）午後6時30分～午後8時00分

場所： 向原中学校 1階ランチルーム

次回協議内容予定

- ・事務局案の考え方
- ・通学区域に関して など

委員会は原則傍聴できます。詳しくは下記までお問い合わせください。

発行元 板橋区教育委員会事務局 新しい学校づくり課 学校配置調整第一グループ

電話 3579-2624 FAX 3579-4214

※上板橋第二中・向原中統合準備委員会ニュースは区ホームページからご覧いただけます。

http://www.city.itabashi.tokyo.jp/c_kurashi/079/079799.html